(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2005-137653
(P2005-137653A)
(43)公開日　平成17年6月2日(2005.6.2)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
A45D 29/00	A45D 29/00		4F100
B32B 27/00	B32B 27/00	L	

審査請求 未請求　請求項の数 6　OL　（全 6 頁）

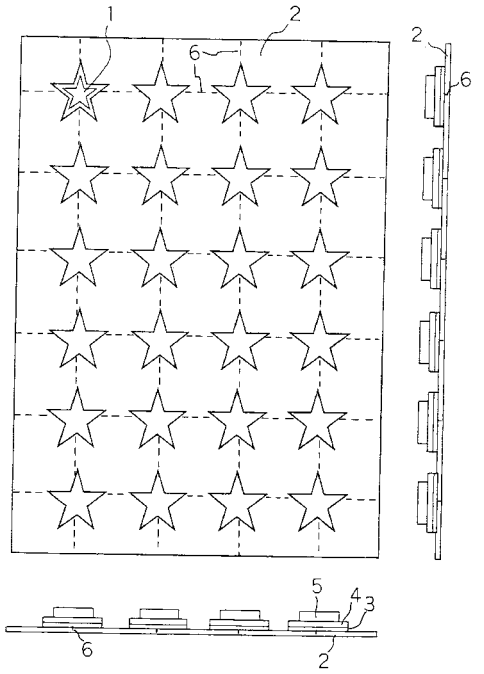
(21)出願番号　特願2003-378173 (P2003-378173)
(22)出願日　平成15年11月7日 (2003.11.7)

(71)出願人　599000832
有限会社　有美
群馬県新田郡笠懸町阿左美７６８―５
(74)代理人　100103137
弁理士　稲葉　滋
(74)代理人　100066876
弁理士　稲葉　昭治
(72)発明者　有澤　節夫
群馬県新田郡笠懸町阿左美７６８―５

Fターム(参考)　4F100 AH06A AK42A AR00A AR00B BA02
CC00A DC13A DG10A EH461 GB66
HB00B JK06A JL13B JL14A

(54)【発明の名称】貼着用装飾体付きシート、貼着用装飾体付きシートの製造法及び貼着用装飾体用離型シート

(57)【要約】
【課題】
貼着用装飾体付きシートにおいて、シートから貼着用装飾体の剥離を容易に行う。
【解決手段】
離型シート２と離型シート２の離型面上に粘着層３を介して剥離可能に設けた貼着用装飾体１とからなる貼着用装飾体付きシートにおいて、離型シート２の離型面には一つ又は複数のカット６が形成されており、カット６に沿って離型シート２を折曲可能あるいは／および変形可能に構成されており、装飾体１の粘着層３は少なくとも一つのカットの上に載っている。
【選択図】
図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
離型シートと該離型シートの離型面上に粘着層を介して剥離可能に設けた貼着用装飾体とからなる貼着用装飾体付きシートにおいて、該離型シートの離型面には一つ又は複数のカットが形成されており、該カットに沿って該離型シートを折曲可能あるいは／および変形可能に構成されており、該装飾体の粘着層は少なくとも一つのカットの上に載っていることを特徴とする貼着用装飾体付きシート。
【請求項２】
請求項１において、該離型シートは、表面にカットを形成した後に離型コーティングを行うことで離型層を形成してなることを特徴とする貼着用装飾体付きシート。
【請求項３】
離型面に一つ又は複数のカットが形成された離型シートの離型面上に、所定形状の透かし部を備えたスクリーン版を用いて、少なくとも一つのカットの上に載るように粘着剤を捺染して粘着層を形成し、該粘着層の上に所定形状の透かし部を備えたスクリーン版を用いて伸縮性樹脂を含む捺染剤を捺染して本体層を形成することで本体層と粘着層とからなる貼着用装飾体を離型面に形成することを特徴とする貼着用装飾体付きシートの製造法。
【請求項４】
請求項３において、該離型シートは、表面にカットを形成した後に離型コーティングを行うことで離型層を形成してなることを特徴とする貼着用装飾体付きシートの製造法。
【請求項５】
シート本体と、該シート本体の表面に設けた一つあるいは複数のカットと、該表面に形成した離型層とからなる貼着用装飾体用の離型シート。
【請求項６】
請求項５において、該離型シートは、表面にカットを形成した後に離型コーティングを行うことで離型層を形成してなることを特徴とする離型シート。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は貼着用装飾体付きシートに関するものである。本発明が適用される好適な例としては、ネイルアート（爪及び付け爪に貼る場合を含む）、ボディージュエリー等の身体貼着用の装飾体が挙げられる。
【背景技術】
【０００２】
最近では、ネイルアートとして、花柄等の模様を有する装飾体を爪に貼り付けることがファッションとなっている。このような貼着用装飾体は、本体と粘着層とから構成されており、一枚のシートの離型面上に多数の装飾体が剥離可能に設けられた貼着用装飾体付きシートとして販売されており、使用時には、離型シートから装飾体を剥離して、爪等に貼着している。
【０００３】
しかしながら、爪貼着用装飾体は爪に貼り付けるものであるところ、装飾体自体が小さいので、離型シートから装飾体を剥離し難く、作業が煩わしい。装飾体はピンセット等で摘んで剥離することが有利であるが、ピンセットを用いたとしても、細かい作業が必要とされることには変わりない。また、離型面上に付着していると言っても、装飾体は、粘着層を介して付着しているので、無理に剥がそうとすると、装飾体が切れたり、破れたり、あるいは変形してしまう恐れがある。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
本発明は、貼着用装飾体付きシートにおいて、シートから貼着用装飾体の剥離を容易に行うことを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】
【０００５】
本発明が採用した技術手段は、離型シートと該離型シートの離型面上に粘着層を介して剥離可能に設けた貼着用装飾体とからなる貼着用装飾体付きシートにおいて、該離型シートの離型面には一つ又は複数のカットが形成されており、該カットに沿って該離型シートを折曲可能あるいは／および変形可能に構成されており、該装飾体の粘着層は少なくとも一つのカットの上に載っており、該離型シートを該カットに沿って折曲あるいは／および変形することで該装飾体の剥離を容易にすることを特徴とするものである。
【０００６】
本発明では、離型シートの離型面にカットを形成することによって、離型シートを局所的あるいは部分的に湾曲、折曲、変形等することを可能とし、そうすることで、装飾体の剥離を容易にするものである。離型シート自体はある程度の可撓性を有するものではあるが、従来の離型シートを湾曲できるラインは、図１に示すような（Ａ）～（Ｇ）のラインであり、いずれも離型シート全体を緩やかに湾曲させることしかできない。装飾体は好ましくは、被貼着面が、爪や肌等の湾曲面あるいは変形する非平面であり、その場合、装飾体の本体は伸縮性樹脂から構成しているので、離型シートを全体的に緩やかに湾曲させても、装飾体が湾曲に追随して湾曲するので、離型シートを全体的に湾曲させることが装飾体の剥離作業に大きく寄与することはない。これに対して、本発明では、離型シートを、カットに沿って局所的あるいは部分的に、かつ、より鋭角に湾曲、折曲、変形等することができる。
【０００７】
本発明は、また、貼着用装飾体付きシートの製造法に係り、離型面に一つ又は複数のカットが形成された離型シートの離型面上に、所定形状の透かし部を備えたスクリーン版を用いて粘着剤を捺染して粘着層を形成し、該粘着層の上に所定形状の透かし部を備えたスクリーン版を用いて伸縮性樹脂を含む捺染剤を捺染して本体層を形成することで本体層と粘着層とからなる貼着用装飾体を離型面上に形成することを特徴とするものである。粘着剤は、粘着層が少なくとも一つのカットの上に載るようにして離型面上に付着される。粘着層を少なくとも一つのカットの上に載るように設けるには、一つには、離型シートの離型面に形成したカットの位置に対して、スクリーン版の透かし部の位置を位置決めして粘着剤を捺染することが挙げられる。あるいは、離型シートの離型面上にカットを密に形成しておけば、スクリーン版の透かし部を位置決めすることなくして、装飾体がいずれかのカット上に載るように設けることができる。
【０００８】
本発明は、また、貼着用装飾体用の離型シートに係り、該離型シートは、シート本体と、該シート本体の表面に設けた一つあるいは複数のカットと、該表面に形成した離型層とからなる。離型シートに形成するカットは、シート体にカットした後に離型層を形成したもの、あるいは、シート体に離型層を形成した後にカットを形成するものがあるが、好ましくは、該離型シートは、表面にカットを形成した後に離型コーティングを行うことで離型層を形成してなる。
【発明の効果】
【０００９】
本発明によれば、離型シートをカットに沿って折曲あるいは／および変形させることで、カットの上に位置する装飾体が部分的に離型シートから剥離するので、装飾体を無理に引っ張ったりすることなく、簡単に装飾体を離型シートから剥離することができる。
【発明を実施するための最良の形態】
【００１０】
本発明の実施の形態について、図面を適宜参照しながら説明する。図２は、本発明に係る貼着用装飾体付きシートの平面図および側面図であり、貼着用装飾体１は爪貼着用装飾体であり、複数の装飾体１が離型シート２上に配設・付着されている。貼着用装飾体１付きシートは、離型シート２と、離型シート１上に形成した粘着層３と、粘着層３の上に形成

した本体層４，５とからなり、粘着層３と本体層４，５とから貼着用装飾体１が形成されている。

【００１１】

離型シート２の離型面には、経緯方向に複数のカット６が設けてあり、平面視格子状のカット６が形成されている。貼着用装飾体１は粘着層３を介して、離型面上に形成した２本のカット６上に付着している。離型シート２は一つの好ましい例では厚さ７５μ～１００μのＰＥＴフィルムであり、カット６は深さ２０μ～５０μのハーフカットである。離型シート２の大きさは、一つの例では、５２．５㎜×６２．５ｍｍであるが、離型シート２の大きさは限定されない。

【００１２】

離型シート２の離型面にカット６を形成することで、図４に示すように、離型シート２を局所的あるいは部分的に折り曲げることができ、しかも、各装飾体１は少なくとも一つのカット６上に位置しているので、離型シート２を折り曲げた時には、図４に示すように、折り曲げと同時に、装飾体１の一部が離型シート２の離型面から剥離する。装飾体自体はある程度の伸縮性、柔軟性を有するが、離型シート２を局所的あるいは部分的に鋭角に折曲あるいは変形することで、装飾体１の一部が離型シート２から剥離する。したがって、装飾体１を無理に引っ張るようなことなくして、装飾体１を容易に離型シート２から剥離することができる。

【００１３】

離型シート２に形成するカット６は、一つの好ましい態様では、図３に示すような経緯方向に延出する多数の直線から形成された平面視格子状のカットである。離型シート２に形成するカット６は、カットに沿って離型シート２を折曲あるいは変形できるものであれば、破線であるか連続線であるか、直線であるか曲線であるか、あるいは不定形の線であるかを問わない。カットは、一つの好ましい例では、ハーフカットであるが、カットは、裏面まで貫通するスリットであってもよい。離型シート１の離型面に設けるカットは格子状のものに限定されず、図５に示すように、互いに平行する複数の直線、複数の×状のもの、複数の＞状のもの、その他様々な形状のカットが例示される。また、離型シート１の裏面側にも一つあるいは複数のカットを形成することで、離型シート１の折曲態様や変形態様に多様性を付与してもよい。装飾体が少なくとも一つのカットの上に載るものであれば、離型シートの表面に形成されるカットの数は限定されないが、特に、図２、図５に示すように、カットを離型シートの表面に密に形成することが望ましい。装飾体の大きさにもよるが、例えば、貼着用装飾体１が爪貼着用装飾体の場合、カット間の間隔を５ｍｍ以下とすれば、容易に、装飾体１をいずれかのカットの上に載るように設けることができるものと考えられる。カットの形成手段は限定されず、カッターによる切込み、押型を用いた押圧等が例示される。離型面にカットを有する離型シートは、シート体の表面にカットを形成した後に、離型剤をコーティングして離型層を形成することが望ましい。

【００１４】

貼着用装飾体付きシートの製造工程について説明する。好ましい例では、装飾体はスクリーン版を用いてシルクスクリーンプリントの技術を応用して製造される。先ず、図示しないプリント台の上に、離型ＰＥＴフィルムあるいは離型紙等の離型シート２を着脱自在に固定する。離型シート２の表面には、一つあるいは複数のカット６が形成されていると共に、離型剤が塗布されており、このような離型剤としてはシリコーンあるいはフッ素が例示される。離型シート２は、シート体の表面にカット６を形成した後に、離型コーティングを施して離型層を形成することが望ましい。こうすることで、次の工程で塗布される粘着剤がカットに落ち込んで付着する（装飾体が離型シートから剥離し難くなる恐れがある）ことを防止することができる。

【００１５】

次いで、所定の形状のスクリーン版を用いて、離型シート２上に粘着剤を捺染して粘着層３を形成する。粘着剤は、好ましくは、対象物に対して常温下で着脱自在の粘着剤である。粘着剤としては、好ましくはアクリル系粘着剤、あるいはウレタン系粘着剤、あるいは

シリコーン系粘着剤が採用される。また、装飾体が身体貼着用装飾体である場合には、粘着剤は医療用テープに用いられる医療用粘着剤であることが望ましい。

【００１６】

２層目として、所定の形状のスクリーン版を用いて、粘着層３の上に、ウレタン樹脂あるいは／およびアクリル樹脂を含む捺染剤を捺染することで、１層以上の本体層４，５を形成する。また、本体層を複数層から構成し、最下層の本体層（粘着層の上に捺染される）を緩衝層（図示せず）としてもよい。また、本体層に発泡剤を混入してもよい。好ましくは、本体層は水性伸縮性樹脂を含む捺染剤から形成されており、具体例では、水性伸縮性樹脂は、ウレタン樹脂、アクリル樹脂、シリコーンゴムからなる群から選択された一つ、あるいは複数の組み合わせ、例えば、ウレタン樹脂とアクリル樹脂の混合体（ウレタンアクリル）、から構成されている。図では２層の本体層４，５を示したが、本体層の層数は限定されない。特に、柄が多色を有する場合には、柄の色数等に応じて多色刷りすることで、複数層の本体層が形成される。本体層は、本体層の表面に形成したトップ層を備えていてもよい。本体層を乾燥させることで、本体層４，５と粘着層３とからなる貼着用装飾体１を離型面に備えたシート２を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１７】

【図１】従来の離型シートの折曲ラインを示す図である。

【図２】本発明に係る貼着用装飾体付きシートの平面図及び側面図である。

【図３】本発明に係る離型シートの平面図である。

【図４】本発明の作用を説明する図である。

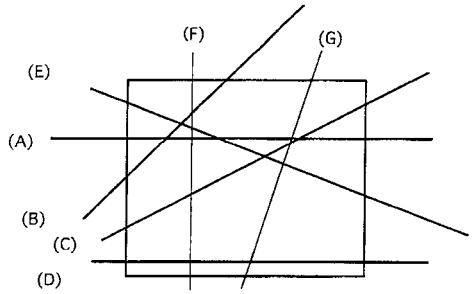
【図５】他の実施例に係る離型シートを例示する図である。

【符号の説明】

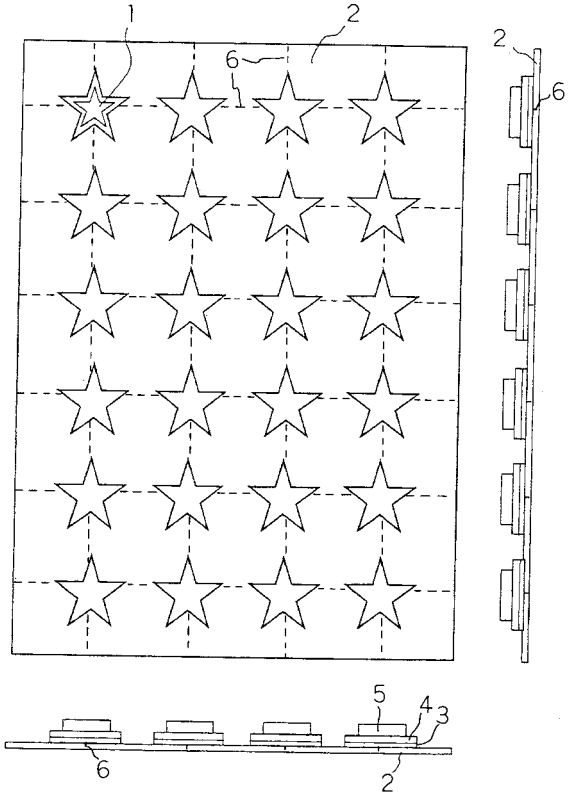
【００１８】

１　貼着用装飾体
２　離型シート
３　粘着層
４　本体層
５　本体層
６　カット

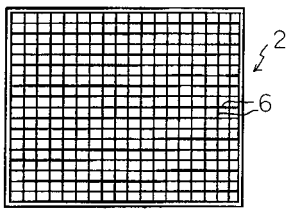
【図１】



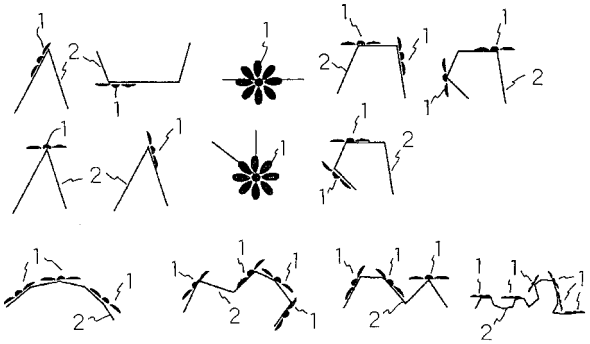
【図２】



【図３】



【図４】



【図５】

